

DUET デュエット

GUIDE DOG MAGAZINE
 全国盲導犬施設連合会
 発足20周年 記念号

2015.4
 VOL.24



Thank you for a guide dog
 盲導犬ユーザーから..あなたへ向けたメッセージ

募金箱設置店募集中

認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 募金箱



子犬募金箱

サイズ
 幅:13cm
 奥行:16cm
 高さ:25cm



成犬募金箱

サイズ
 幅:14cm
 奥行:21cm
 高さ:33cm



パトラッシュ募金箱

サイズ
 幅:14cm
 奥行:21cm
 高さ:27cm

©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

まずは、お気軽にお電話ください。

☎ 03-5367-9770

都道府県別の盲導犬実働数
 1,010頭 🐾🐾



北海道...51	埼玉県...43	静岡県...51	鳥取県...4	佐賀県...5
青森県...4	千葉県...32	愛知県...38	島根県...11	長崎県...5
岩手県...13	東京都...105	岐阜県...5	岡山県...19	熊本県...9
宮城県...19	神奈川県...58	三重県...12	広島県...32	大分県...14
秋田県...16	新潟県...37	滋賀県...13	山口県...16	宮崎県...12
山形県...7	富山県...5	京都府...20	徳島県...6	鹿児島県...19
福島県...15	石川県...24	大阪府...60	香川県...8	沖縄県...4
茨城県...27	福井県...4	兵庫県...53	愛媛県...15	
栃木県...12	山梨県...18	奈良県...18	高知県...7	
群馬県...10	長野県...23	和歌山県...7	福岡県...24	

2014年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会 盲導犬委員会 「平成25年度盲導犬訓練施設年次報告書」より

DUET

2015年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
 〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
 TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp

年1回4月発行

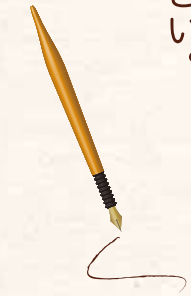


ぜひ、盲導犬ユーザーから
あなたへのメッセージを受け
取ってください。

盲導犬と共に歩く喜びや感謝の
気持ち、困っていることや楽しい
ことなど、さまざまな声を紹介
します。

今回のDUEETには、皆様
の協力のおかげで盲導犬を得た
全国各地の盲導犬ユーザーから、
たくさんの方のメッセージが寄せら
れました。

全国盲導犬施設連合会は、
今年で発足20周年を迎えます。
長年にわたる、ご支援・ご協力、
誠にありがとうございます。



ごあいさつ



日本における盲導犬の普及を進めることで、視覚障害者の自立と社会参加へ貢献することを目的に全国の育成団体が集まり発足した「全国盲導犬施設連合会」は、2015年4月をもちまして20周年を迎えました。これまで歩み続けてこられましたのも、盲導犬育成・普及に深い理解をもって応援して下さる皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

全国盲導犬施設連合会はこれまで、加盟盲導犬施設が行う盲導犬事業をさらに発展させる為、全国的な盲導犬の啓発活動、盲導犬事業を担う訓練士・歩行指導員の資格認定、盲導犬に関する調査・研究など、多岐にわたる事業を展開してまいりました。

日本全国の皆様が、当連合会の存在意義や活動内容にご理解を示され、長年にわたるご協力をいただいたおかげで事業継続ができ、平成23年には、組織運営・事業活動が適正であると国税庁より認められ、「認定NPO法人」として認定を受けることもできました。誠にありがとうございます。

発足20周年を節目とし、30周年に向けてさらに啓発活動や各施設への支援活動等の事業を展開してまいりたいと考えています。

盲導犬の普及を通じ、視覚に障害のある人々の、安全で自由な社会参加を実現できるよう、「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念としてこれからも役職員一同力を合わせてまいりますので、なおいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年4月
認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会



幸せすぎるオリーブとの暮らし

鈴木真理子さん&盲導犬オリーブ(栃木県)



オリーブは私にとって、日々の1時間以上の散歩ではパートナー、排泄やシャンプーをしている時は可愛い子ども、自宅にいる時は恋人です。外出の準備をしていると様子を見に来たり、排泄が上手く出た時は喜んで「出来たよー」とアピールすることが、特に子どものように愛おしく感じますね。

大雨や台風などの悪天候が何日も続く、外での排泄を少し大変に感じる時もあります。オリーブとの暮らしは、私に生活の潤いを与えてくれます。「一緒に居て良かった」といつも思っています。

将来は盲養老への入所を考えていたのですが、オリーブと暮らす生活が幸せすぎるので、今では入所は考えられません。

盲導犬について全てを理解してもらつことは、動物アレルギーの人もいるので難しいと思いますが、視覚障害者や盲導犬に関心や理解を持って頂いているだけで、感謝の気持ちでいっぱい입니다。大変な難いと感じています。

私から会いに行くよ!

加藤さん&盲導犬ユリシス(愛知県)

以前は「出かけた」と思い立っても人に頼らなければいけないので、思うように出かけられずイライラしてしまうことがとても多かったのですが、ユリシスと出会ってからは毎日と言っていいほど出かけるようになりました。

離れて暮らす両親や娘孫家族の家へ、ユリシスと一緒に自分から会いに行き、笑顔で迎えてもらうことができます。自分が「会いたい」と思う時に、自分から会いに行けるのはとても素晴らしいことです。

盲導犬ユーザーとなってまだまだ日が浅いので、ユリシスと歩くことに神経を使うこともあります。ユリシスと出会うまでにどれだけの方々の優しい想いにユリシスを包んでいただいたことか...そして今も優しい想いに包まれていることに、ただただ感謝するばかりです。皆様本当にありがとうございます。

さりげない日常にある喜び

清水頭篤志さん&盲導犬クララ(北海道)



クララとの出会いは平成20年7月。今でも忘れられずにいます。日々、大変なことや挫折そうになることもあります。クララといるととても穏やかな気持ちになれるんです。「大丈夫だよ」と、クララがいつも背中を押してくれるような気がします。

目的地に無事着いた時、自宅で触れ合っている時、地下鉄やバスに乗って一息ついた時、コンサートに行つて足元にいるクララの温もりを感じた時、クララが嬉しそうに、気持ち良さそうに眠っている時、ドッグフードを夢中で食べている時、見知らぬ人にクララをほめられた時、天気の良い日に散歩をしている時、ふとクララの気配を背中で感じた時...さりげない日常のさまざまな場面で、クララという喜びを感じます。

皆様の暖かい気持ちのひとつになって毎年新たに盲導犬が誕生しています。感謝の気持ちを忘れずにクララと暮らしていこうと思えます。ご支援どうもありがとうございます。

私を変えてくれた大事な家族

小林保夫さん&盲導犬フィル(東京都)



フィルは私にとって初めての盲導犬です。目が見えなくなったことで外に出ることが怖く、仕事もやめ家にいることが多くなっていました。フィルと出会う、外出への抵抗がなくなりました。フィルと一緒に歩けることが気持ちを楽にしてくれます。

散歩中、フィルの歩きを妨げるような歩行者に困ったり、スピードをあげたまま側を通る車に怖い思いをしたことがあります。目の見えなことがどういふことなのかきちんと知って、相手の立場になって「思いやりの気持ち」を持っていたけると嬉しいですね。

フィルと散歩に行くと、犬の散歩をしている人が次々と私に声をかけてくれます。会社人間だった私ですが、フィルをきっかけに地域の方とも交流できるようになり、今では日々の散歩が楽しみです。

フィルは私の家族であり、友だちです。

盲導犬の存在とは…!?

浦野龍也さん&盲導犬テラ(兵庫県)

テラは2頭目の盲導犬です。1頭目のジエームスとは8年間一緒に暮らしましたが、4年前に引退の時期を迎えたので協会へお返ししました。ジエームスと出会う前は、絶望感や孤独感、疎外感、不安感などが頭いっぱい渦巻いて、家に閉じこもっていたのですが、盲導犬ユーザーとなつてからは自分が思ったときに思った所へ自由に行けるようになり、中途失明で失った自由をもう一度取り戻したと思いました。

自分を「人間」に戻してくれたジエームスとの別れは辛く苦しく、ジエームスが傍にいないと外出することが心細くて怖くて玄関から外に行けなくなりました。盲導犬はただ歩くのに便利というだけではなく、精神的に支えてくれていたのだと感じています。

盲導犬といると明るくなれます。笑顔になれます。明日も一緒に歩けると思うと希望が湧いてきます!



気軽な散歩道

河口まき子さん&盲導犬ウェンディ(福岡県)

私は散歩が大好きですが、散歩ごときではなかなかガイドヘルパーさんは頼みにくいのです。自分の好きな時に好きな場所へ行き、散策を楽しむことができるのも盲導犬がいてくれるからです。散歩に気軽に出かけられるようになり、生活の中で楽しみができて気持ちに潤いが生まれました。

以前は、一歩外に出ると不便なことや理不尽なことに気持ちが支配され、他人に対しても素直になれませんでした。盲導犬といると自然に素直な気持ちになれ、周囲の人とも自然体で接することができるようになった気がします。

また、盲導犬は命を守る存在でもあります。私たち盲導犬ユーザーにとって盲導犬の意義を理解し、応援して下さる方がいることは本当に有難いです。

不安でこわごわ歩いている時でも、温かく見守って下さる方がいると思うと、大変心強く励みになります。



災害時、その時盲導犬は??

一星末張さん&盲導犬アイビー(滋賀県)

盲導犬を得たことで、いつでもどこでも行けるといふ自由が得られ、活動の範囲が広がり、安全且つスピーディーな快適歩行や、のんびり散策を楽しんだりできるようになりました。

盲導犬は普段の生活だけではなく、緊急時も行動を共にします。近年、地震や津波、豪雨などの自然災害が頻発・激甚化し、盲導犬も一緒に避難所生活を余儀なくされる場合が出てくるように思います。そこで、県内の盲導犬ユーザーは災害時、盲導犬と共に避難所へ入所できるように関係者へ周知徹底していただくよう市長へ要望したところ、避難所運営マニュアルに明文化するなど、同伴入所の回答をいただきました。

盲導犬はいつも清潔に、予防接種などの保健衛生には十分気をつけて生活しております。避難勧告等が出された時は盲導犬と共に、皆さんと和やかに避難生活を送れることを願っています。



一緒なら、大丈夫だよ

谷本邦恵さん&盲導犬アルト(香川県)

アルトは、街中のあらゆる危険を回避し、私に教えてくれます。段差で足を踏外しそうなった時や急に車が飛び出してきた時など、アルトと一緒に良かつた心から思います。

安心して道路を歩くことができるので、行きたい時に買い物へ出かけられるようになりました。また、アルトと一緒に心強く、外出先で道に迷った時でも気軽に人へ尋ねることが出来ます。

そんなアルトにも、少し苦手なこともあります。それは多目的トイレでの排泄です。何度も試みても外出先のトイレで排泄をしてくれなかったのですが、今年になってホテルのトイレでは、排泄をしてくれるようになりました!

アルトは私にとって心の癒しです。街中のさまざまな場所へアルトと一緒に気軽に入ることができるようになり、皆様の温かいお気持ちが優しいシャワーのように社会全体へ降り注がれますことを願っております。



盲導犬の一生

①誕生

盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から盲導犬の候補犬は生まれます。生後2ヶ月頃まで、母犬のもとで暮らします。

②生後2ヶ月頃

パピーウォーカー(子犬を飼育するボランティア)の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。この期間に、人間との信頼関係を築き、社会のマナーも学びます。

③訓練スタート

1歳になると、盲導犬協会に戻ってきます。約6～12ヶ月間、盲導犬になる為の訓練を受け、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

④共同訓練

盲導犬としての適性が認められ、訓練を終えた犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。そこで視覚障害者は、盲導犬と歩くための歩行指導を受けます。また、それ以外にも、犬の世話や健康管理の方法など、知っておくべき知識やマナーも学びます。さらに視覚障害者の生活エリアでの歩行指導も行います。共同訓練の修了後、盲導犬とそのユーザーの生活がいよいよスタートします。

⑤共に歩く

盲導犬ユーザーとなった後も、必要に応じてフォローアップが行われます。盲導犬とユーザーは互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきます。盲導犬とともに歩くことで、ユーザーは安全で快適に出かけることができます。

⑥ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。引退後は、引退犬飼育ボランティアの家で暮らしたり、育った盲導犬協会です十分なケアを受けながら暮らします。



全国盲導犬施設連合会 20年の歩み

- 1994年 6月 全国の盲導犬協会8団体が集まり、連合会組織設立準備委員会が発足「盲導犬同伴可」ステッカーの作成と配布開始
- 1995年 3月 全国盲導犬施設連合会設立総会。国家公安委員会、厚生省の認可を受け、事業を行っている全団体が加盟。
4月 全国盲導犬普及キャンペーン開始、広報誌「デュエット」発行、季刊誌「盲導犬情報」発行。全国盲導犬施設連合会発足記念式典開催
- 1996年 4月 加盟施設への助成事業開始
- 1997年 1月 第1回盲導犬訓練士養成研修会開催
- 1998年 11月 「盲導犬に関するアンケート調査」の実施
- 2001年 4月 盲導犬訓練士養成テキスト作成
- 2002年 4月 小中学校盲導犬啓発キャンペーン開始
- 2004年 2月 盲導犬繁殖の調査研究のためアメリカの3つの盲導犬協会訪問
5月 国際盲導犬連盟主催セミナーに加盟施設職員6名派遣
- 2005年 6月 全国盲導犬施設連合会「あり方検討委員会」の設置
盲導犬歩行指導員等養成「カリキュラム調査委員会」の設置
9月 「身体障害者補助犬法の見直しに関する要望書」を厚生労働省に提出
- 2006年 5月 盲導犬の寿命の調査を実施
6月 「補助犬法」の見直しを求める署名活動
- 2007年 6月 盲導犬に関する「相談室」の開設
11月 「補助犬法」改正への要請行動
- 2008年 1月 盲導犬歩行指導員等資格認定制度の導入
2月 NPO法人化設立総会
6月6日 特定非営利活動法人(NPO法人)設立
- 2010年 3月 国家公安委員会へハーネス形状改正要請
12月 ハーネス形状改正
- 2011年 10月 国税庁長官より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として認定を受ける。(認定期間:平成23年10月16日～平成28年10月15日)



補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくための「補助犬同伴可ステッカー」を作成しています。このステッカーを店頭に貼っていただくことにより、一般のお客様に補助犬に対する理解を深めていただくとともに、補助犬ユーザーの方々に安心して各施設をご利用いただけることを趣旨としています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。



(補助犬同伴可ステッカー)

募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- | | |
|---------------|-----------------|
| イズミヤ(株) | (株)イトーヨーカ堂 |
| (株)エコス | (株)音通 |
| (株)銀座マギー | (株)ゲオ |
| (株)サークルKサンクス | ジェームス |
| (株)たいらや | (株)ダイエー |
| フェリシモ基金事務局 | (株)フジ |
| (株)マスダ | (株)明光ネットワークジャパン |
| メットライフ生命保険(株) | ユニー(株) |
| (株)ヨークマート | (株)LIXILビバ |
| (株)和真 | |

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業共通に関わる費用として、活用させていただきます。

盲導犬ユーザーと出会ったら



盲導犬は工作中、白、または黄色のハーネスをつけています。ハーネスをつけているときは工作中です。盲導犬ユーザーが困っているようなときは、盲導犬ではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声掛けをお願いします。

工作中的盲導犬に 声をかけないでください

盲導犬はハーネスをつけているときは仕事に集中しています。さわったり声をかけたりしないようにしましょう。また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散って盲導犬ユーザーを安全に誘導できなくなってしまいます。

盲導犬におやつなどの 食べ物をあげないでください

盲導犬は盲導犬ユーザーとともに、規則正しい生活を送っています。健康管理のため、またトイレのタイミングをコントロールするため、食事の時間も決まっております。決められたものしか口にしないようにしているので「かわいい」と思っても食べ物を与えないでください。

手引きの方法

視覚障害者の方を安全に誘導する方法を「手引き」といいます。盲導犬ユーザーから手引きを頼まれたら、盲導犬がいない側へ立ち、あなたのひじか肩をユーザーに持ってもらい、あなたが半歩前を歩くようにしながら安全な誘導をお願いします。

温かく受け入れてください

「身体障害者補助犬法」施行により、公共施設、電車やバス、お店、ホテル、病院など不特定多数の人が利用する施設を、身体障害者は盲導犬などの補助犬を同伴して利用することができます。補助犬を使用する身体障害者の受け入れにご協力をお願いします。

パトラッシュの募金箱。
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、チャリティーオークションの開催、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っております。詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-14 uhb ビル
TEL 03-3574-6281 (平日 10:00~16:00)
公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



MetLifeSM メットライフ生命



© 2012 PNTS

メットライフ生命は 1995 年以來、
盲導犬育成活動を支援し続けています。

〒130-0012 東京都墨田区太平 4-1-3 オリナスタワー
Tel 0120-880-533 (お客様相談室) www.metlife.co.jp



全国盲導犬施設連合会 平成26年度主な活動報告

認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の盲導犬訓練施設8団体(P13～P14参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

皆様のご支援・ご協力で平成26年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

「盲導犬普及啓発活動」を日本全国で46回実施

多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために全国各地へ出向き、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを実施しました。(主には募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により開催)



メットライフ生命様の「スヌーピー」号飛行船一般公開に参加し、実演やPR犬たちとのふれあいを通じて、盲導犬の啓発をさせていただきました。

春休み・夏休み恒例となりましたダイエー様主催、「補助犬ふれあい教室」の様子です。平成26年度にふれあい教室累計回数が、なんと1000回を突破しました!



ユニー様のエコ博では訓練デモンストレーションや盲導犬クイズを実施。パトラッシュ募金箱での募金の呼びかけも実施しました。



サークルKサンクス様の商品展示会で盲導犬のPR活動をさせていただきました。



フジ様の盲導犬ふれあい広場は、大きなステージで訓練実演を披露させていただきました。

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定



全国どこの盲導犬協会でも同じレベルの盲導犬を輩出できるように、全国盲導犬施設連合会では訓練士と歩行指導員の資格認定をしています。筆記試験・実技審査の結果、平成26年度は3名の訓練士、4名の歩行指導員の資格を認定しました。

盲導犬普及を進める広報誌を発行



・「DUET23号」とポスターを発行(年1回)。DUET23号は、「1頭の盲導犬が育つまで」をテーマに、盲導犬の一生を特集しました。募金箱と一緒に常設する他、各種イベントで配布しました。

・「盲導犬情報」を発行(年2回)。盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。墨字(活字)版の他、点字版、CD版も発行しています。

全国盲導犬施設連合会ウェブサイトでも閲覧可能

盲導犬育成費用への助成



盲導犬育成にかかる費用は、自治体からの助成もありますが頭数や助成額にも限りがあります。このため盲導犬協会が、助成を受けられない視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会が1頭ごとに200万円の助成を行い、盲導犬の普及と視覚障害者の自立、社会参加促進を図っています。(※平成25年度は30頭分を助成)

盲導犬受入の促進



・補助犬ユーザーの受け入れをスムーズに実現していただけるように「補助犬同伴可ステッカー」を配布しました。
・各種商業、公共施設で盲導犬ユーザー受入時の対応方法を案内する冊子「盲導犬ハンドブック」をリニューアル作成しました。

国家公安委員会指定 加盟施設一覧



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 廣岡 正久 HPアドレス: www.kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

京都に盲導犬を育成する団体を!と願う市民が集まり1980年に発足しました。多くの方々からご支援いただいていることを励みに、視覚障がい者が安全に外出し安心して暮らせるよう、質の高い盲導犬の育成に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 志田 恭司 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

「自立と社会参加のためのパートナーシップ」を基本理念とし、視覚などに障害のある方が、尊厳をもってその人らしい生活ができ、積極的に社会参加をすることを共通の目標として、活動しています。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

代表理事 保坂 和夫 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行の訪問指導、生活訓練なども行っております。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 岸田 衛幸 HPアドレス: www.moudouken.org

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

視覚障がい者が笑顔で安全に歩けるように…役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障がい者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: www.moudouken.net

東京本部 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030

神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990

島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

昭和42年に厚生省の許可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。4つの訓練センターの特色は、神奈川は訓練の中心地、仙台は視覚障がいリハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のパピープログラムです。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 田中 久也 HPアドレス: www.fgda.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様に快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 殿塚 猷一 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市中区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

